

2019 年（平成 31 年）2 月 8 日



平成 31 年 2 月藤沢市議会定例会 記者会見資料



平成 31 年度当初予算案の概要



郷土愛あふれる藤沢

～松風に人の和うるわし 湘南の元気都市～



◇予算編成の基本的な考え方

平成 31 年度当初予算案は、平成 28 年度に市政運営のテーマとして定めた「未来に向けた元気なまちづくり」の集大成として、「藤沢市市政運営の総合指針 2020」に基づき、市民生活に密接に関わる事業を積極的に進める予算として編成をしました。

- 次代を担う子どもの未来を応援するため、子育て支援と小中学校の教育環境の充実に取り組みます。
- 地域共生社会の実現に向け、藤沢型地域包括ケアシステムの深化として、包括的支援体制の構築を進めます。
- 藤沢駅周辺地区再整備をはじめとする将来に向けた都市基盤整備を進めます。
- 東京 2020 オリンピック・パラリンピック競技大会に向けた施策を着実に進めます。

◇予算規模

一般会計 総額 1,490 億円（対前年度 +105 億円・107.6%）※平成 29 年度に次ぐ規模

（単位：千円）

	平成 31 年度	平成 30 年度	増減額	対前年度比
一般会計	149,022,000	138,553,000	10,469,000	107.6%
特別会計（8 会計）	120,173,513	118,939,168	1,234,345	101.0%
合計	269,195,513	257,492,168	11,703,345	104.5%

※平成 30 年度特別会計は、柄沢特定土地区画整理事業費を含む 9 会計の金額。

◇一般会計の特徴

○子育て支援と教育環境の充実（346 億円、+34 億円、110.8%）

待機児童対策の推進（法人立保育所施設整備・保育士人材確保）、小児医療費助成の対象拡大、放課後児童クラブの整備、小学校全校への空調設備の設置、中学校給食の全校実施、小中学校の教育 ICT 化、給付型奨学金制度の対象拡大など

○地域共生社会の実現（226 億円、+15 億円、106.9%）

CSW の増員配置、地域の縁側の増設、（仮称）地域福祉推進プラザの設置、成年後見制度利用促進に向けた権利擁護に係る体制と機能の充実（ふじさわあんしんセンター）、障がい者に係る日中一時支援事業の拡充、生活困窮者への一時生活支援事業の開始など

○都市基盤整備の推進 (140 億円, +34 億円, 131.9%)

藤沢駅北口ペDESTリアンデッキ及び北口交通広場の再整備, 藤沢駅南北自由通路拡幅に係る基本設計, 市役所分庁舎の整備, 善行市民センターの整備など

○オリンピック・パラリンピック関連事業の推進 (8 億円, +5 億円, 302.0%)

セーリング競技・パラスポーツの普及啓発, 東京2020大会に向けた気運醸成の取組, 大会関連ボランティアに関する取組, 片瀬・江の島周辺の施設等の整備 (公衆トイレ・観光案内サイン整備・境川にかかる弁天橋等) など

【参考】一般会計款別の特徴

【前年度比の増加額が大きい款】

○総務費 +53.7 億円 134.9%

※主な理由 庁舎等整備費+30 億円・善行市民センター改築事業費+9 億円

○民生費 +37.4 億円 106.2%

※主な理由 介護給付費等事業費+9 億円・児童保育委託費+4 億円

○衛生費 +15.6 億円 111.0%

※主な理由 一般廃棄物中間処理施設整備事業費+7.7 億円・石名坂環境事業所整備費+4.2 億円

○教育費 +11.1 億円 109.9%

※主な理由 六会中学校屋内運動場改築事業費+2.8 億円・南市民図書館等運営管理費+1.7 億円

【前年度比の減少額が大きい款】

○労働費 -25.5 億円 14.0%

※主な理由 労働会館整備費-25.4 億円

○農林水産業費 -1.5 億円 77.7%

※主な理由 漁港機能保全対策事業費-1.5 億円



* この資料に関する問い合わせ先

藤沢市役所

財務部	財政課	中山	内線 2301
企画政策部	秘書課	戸塚	内線 2110
企画政策部	広報課	伊藤	内線 2120